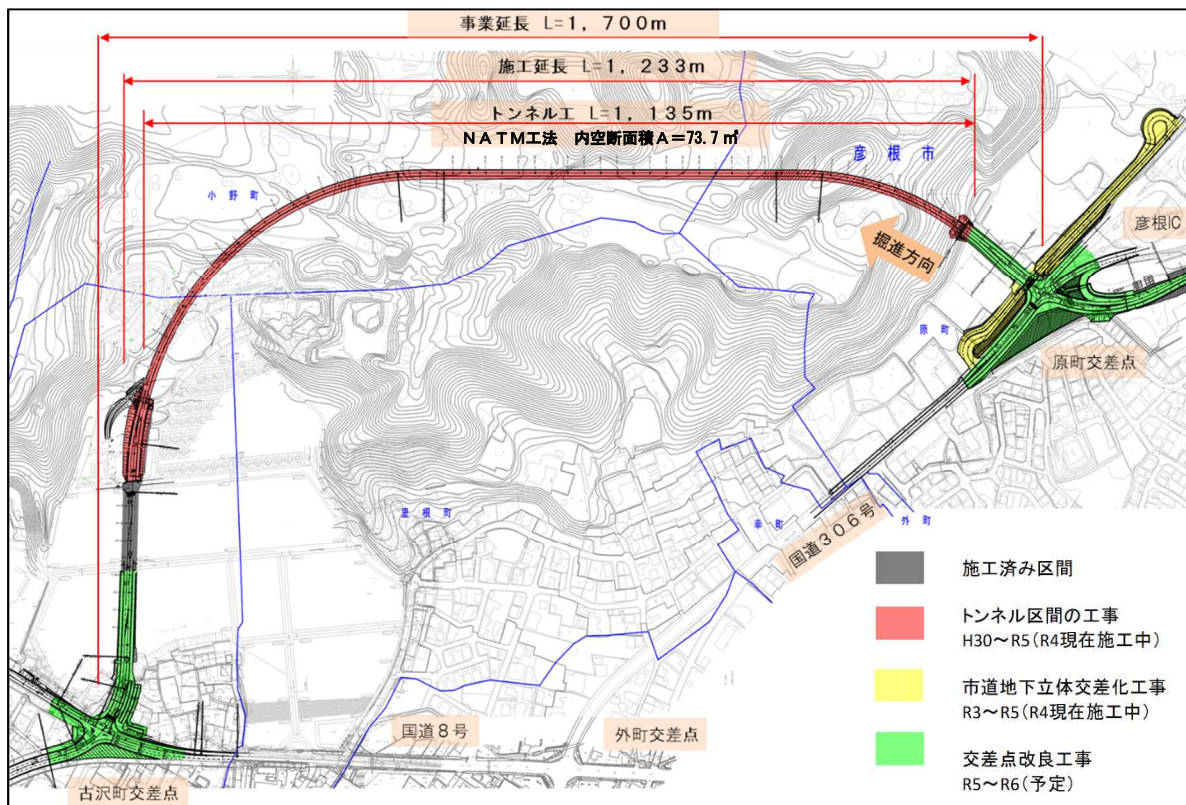


(都) 原松原線トンネル工事の進捗状況について

1 工事概要

- ・工事名 平成30年度 第1-1号 原松原線補助都市計画街路工事
- ・施工場所 彦根市原町他
- ・概要 施工延長 1,233m
 トンネル工 1,135m、明かり部道路工 1式、仮設工 1式
- ・工期 平成31年3月18日～令和5年5月26日
- ・契約金額 9,801,256,100円
- ・契約の相手方 戸田・昭建・金子建設工事共同企業体
 代表者 戸田建設株式会社大阪支店
 常務執行役員支店長 三宅 正人



国道8号側坑口部 イメージ図



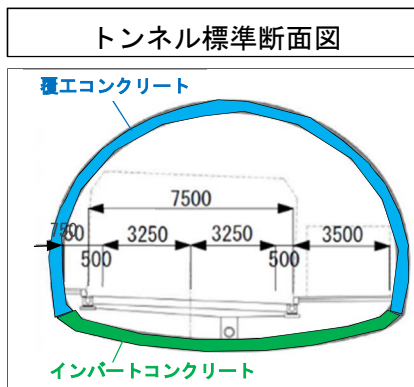
彦根IC側坑口部 イメージ図



2 トンネル工事の状況【令和4年11月末現在】

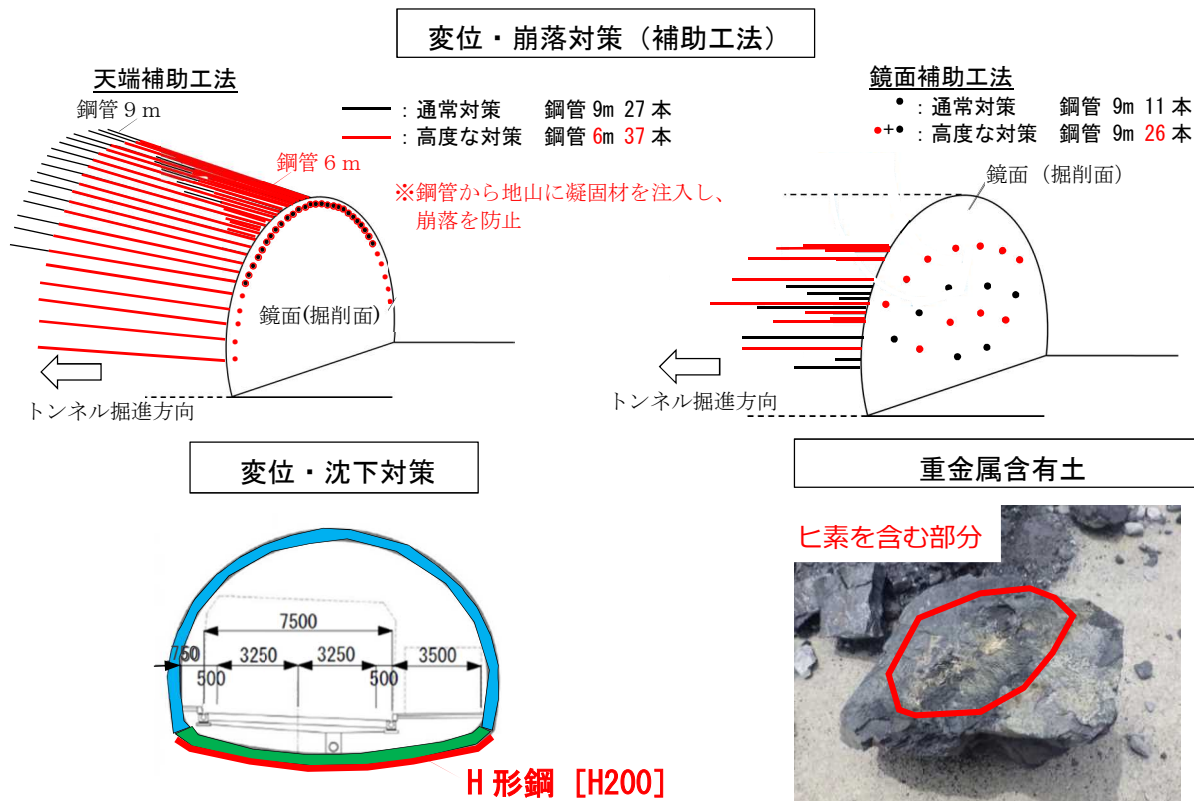
(1) 進捗状況

- ・トンネル掘削 令和4年3月4日 トンネル貫通
- ・インバートコンクリート 令和4年7月1日 施工完了
- ・覆工コンクリート 1,121/1,135m (令和4年12月末 完了予定)
- ・坑門工 施工中 (令和5年1月末 完了予定)



(2) 地質状況

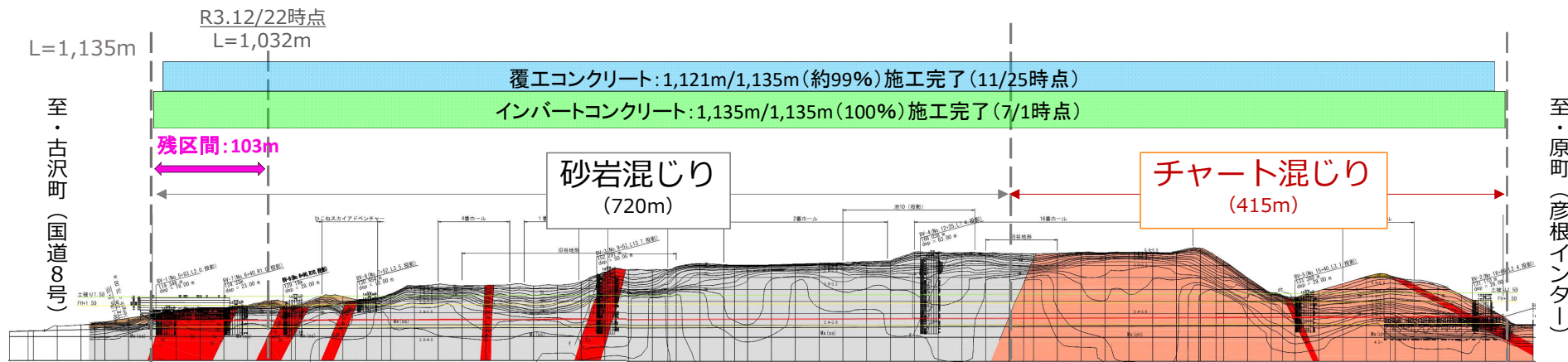
- ・令和4年2月定例会議常任委員会にて報告した時点では、残る103mの区間は粘土を含み破砕帯が連続する脆い地層であることが想定されたため、より高度な変位・崩落対策および変位・沈下対策を区間の100%で実施するとした。
実績は、変位・崩落対策は区間のすべてで必要であり、内、高度な変位・崩落対策は区間の約58%、変位・沈下対策は約14%の割合で実施した。
- ・同じく、重金属含有土を100%と想定していたが、約51%の割合で出現した。



(3) 工事費の変更

減額が見込まれる。(精査中)

■ トンネル掘削状況図



《地質》

※脆い層では補助工法により安全を確保

硬い層: 70%
脆い層: 30%



当初設計

高度な変位・崩落対策: 100%見込み
変位・沈下対策: 100%見込み



設計変更
(R3年12月22日)
(R4.2月定例会議報告)

硬い層: 19%
脆い層: 81%

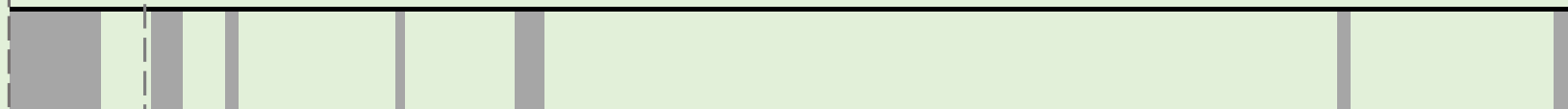
高度な変位 変位
崩落対策 崩落対策
58% 42%
変位・沈下対策
14%



実績
(R4年11月25日)

《重金属含有土》

重金属: 12%



当初設計

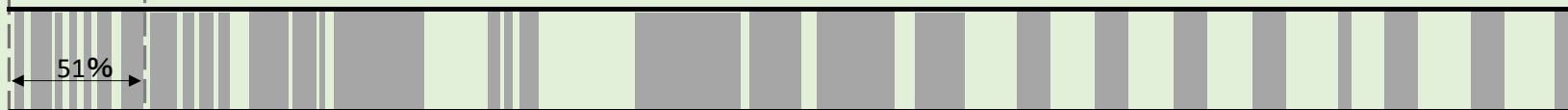
100%
(見込み)



設計変更
(R3年12月22日)
(R4.2月定例会議報告)

重金属: 48%

51%



実績
(R4年11月25日)